令和４年１２月２１日発行

あつま 生涯学習だより

発行　厚真町教育委員会　電話２７－２４９５

主な記事

①令和４年度全国学力・学習状況調査
②上厚真バドミントンスポーツ少年団/ふるさと教育
③青少年センターからのお知らせ/学校閉庁日/第３期英会話教室
④町民スケートリンクの利用/不用スケート靴の受付について/１１月定例教育委員会/厚真町スピードスケート記録会
⑤図書室だより
⑥放課後子ども教室活動報告

令和４年度全国学力・学習状況調査　結果公表

～力強く自分の将来を語り、目標をもって主体的に学ぶ子どもたちの育成を目指して～

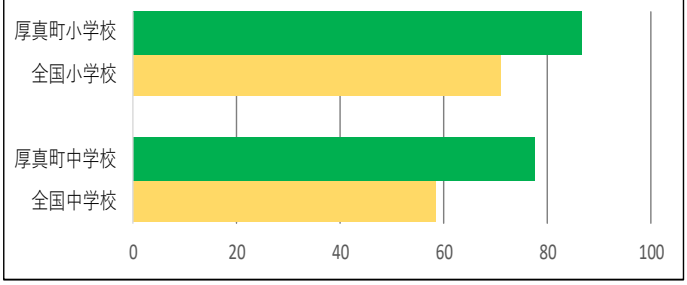
厚真町の児童・生徒は計画的に家庭学習へ取り組む

１２月、厚真町教育委員会では、令和４年度全国学力・学習状況調査の結果を町のホームページに公表しました。調査の一つに「児童・生徒質問紙」があり、質問紙の二つの設問に見られる、本町の子どもたちの特徴についてお伝えします。

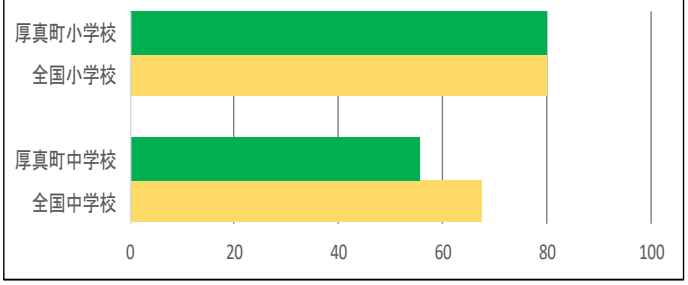
二つの設問は「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と「将来の夢や目標を持っている」です。計画的に家庭学習を行っている割合は小・中学校ともに８０％ほどであり、全国平均を上回っていることから主体性をもって家庭学習を行っている様子がうかがえます。一方、将来の夢や目標を持っている割合は、小学校は８０％で全国平均と同様、中学校では約５６％で全国平均よりも低くなっています。子どもたちが将来への夢や目標を持って主体的に学ぶことは、厚真町の小中一貫教育が目指す「厚真の未来を語れる子」に重なる姿です。１１月には研究大会を実施しましたが、平成３１年度から開始した本町の小中一貫教育の成果検証を確実に行うとともに、これからも教育研究所を中心として力強く自分の将来を語り、目標を持って主体的に学ぶ子どもたちの育成を目指してまいります。ぜひ家庭や地域の皆様も、子どもたちと将来の夢や目標、また地域の未来について語り合ってくださいますようお願いします。

なお、その他の教科や質問紙の結果につきましては、下記を参考にご覧ください。

【資料１】家で自分で計画を立てて勉強している



【資料２】将来の夢や目標を持っている



また、「令和４年度全国学力・学習状況調査」の詳細な内容については、右図のＱＲコードからつながる町のホームページから確認できますので、ぜひご覧ください。

厚真町の団体紹介　～上厚真バドミントンスポーツ少年団～

上厚真バドミントンスポーツ少年団には、小学生から中学生が所属し活動しています。普段の活動では、バドミントンで必要となる基礎体力のトレーニングや、基本となる動作を学びながら日々の練習に励んでいます。活動は毎週月曜・木曜日の午後６時から厚南中学校の体育館で行っています。バドミントンに興味がある、やってみたいお子さんがいれば、まずは、教育委員会までお問い合わせください。

いしいりゅうたろう
石井琉太郎くん

上厚真バドミントンは、大会への挑戦も積極的に行っています。所属している石井琉太郎（いしい　りゅうたろう）くん（小学４年生）が、胆振での地区大会で優秀な成績を残したことから、来年１月に開催される「全十勝小学生オープンバドミントン大会」への出場が決定しました。石井くんは「全十勝への出場が決まり、練習の成果が発揮できてうれしいです。大会に向けてよりいっそう練習をがんばります」と意気込みを語ってくれました。

ふるさと教育　「厚真の未来を語ろう　～座談会～」

厚南中学校３年生は、１１月３０日（水）に、ふるさと教育の集大成として「厚真の未来を語ろう～座談会～」を開催しました。

３年生はこれまで、３人のローカルベンチャー（起業家）の方を招き、厚真に移住した経緯や厚真への熱い思いについての対話学習を行うとともに、それぞれの事業所を訪問し取材やインタビューを行いました。そして今回、生徒たちは、取材した内容の動画編集を行い、事業所の方々の取組が、町づくりや人づくりに結びついていることを報告しました。その後、２グループに分かれ、浜厚真に温泉施設を建設し、厚真の魅力でもあるサーフィンやハスカップの収穫体験ができる旅行プランや、広大な森林を活用したウォーキングコース、星空観察等が楽しめるテーマパーク構想など、自分たちが考えた厚真の町をよりよくするための具体的な方策等について発表がありました。座談会に参加した地域の方は、「子どもたちが真剣に厚真町のことを考えていることが素晴らしい」など、未来を見据えた提言に感心していました。

青少年センターからのお知らせ

冬休み特別企画
「ルーブル絵画展」＆「Daumクリスタル展」開催

○期間　令和４年１２月２６日（月）～令和５年１月１６日（月）
※祝日及び１２月３０日（金）～１月４日（水）を除く
○時間　午前９時～午後５時
○場所　青少年センター２階　ギャラリー

～　年末年始の休館日について　～

下記施設は、１２月３０日（金）～１月４日（水）まで休館日となります。
※１２月２９日（木）は、午後５時に閉館します。
※　１月　５日（木）から通常開館となります。

・青少年センター
・創作館（じゅらく舎）
・厚真町スポーツセンター
・あつまスタードーム

【問合せ】
教育委員会社会教育グループ　☎２７－２４９５

今年も大変お世話になりました！

「学校閉庁日」の取組にご理解とご協力をお願いします

「学校閉庁日」とは、学校における働き方改革の一環として、学校の先生が休暇を取得しやすい環境を整え、ワーク・ライフバランスの充実を図ることにより、心身の健康を保ちながら職務に従事できるようにするため、長期休業中に設定される閉庁（業務を行わない）日です。

冬休み中の町立学校閉庁日

小学校　12月28日（水）～ 1月　5日（木）
中学校　12月28日（水）～ 1月　4日（水）

【その他】　・緊急の場合は、各学校から掲示される緊急連絡先にご一報ください。
・この期間は学校開放による体育館の使用もできません。

【問合せ】　教育委員会学校教育グループ　☎２７－２４９４

第３期の英会話教室始まります！

教育委員会が主催している英会話教室第３期のお知らせです。４月に着任したＡＬＴ（外国語指導助手）のアルビン・クマル先生（オーストラリア出身）と一緒に、英語を使ったゲームやクイズなどを行いながら、あいさつや自己紹介等、日常的に使える英語や日ごろの出来事について楽しく学びます。２０２３年、新しいことに挑戦したい方、お待ちしております！

【第３期について】
日時：１月１８日～３月２２日までの毎週水曜日
１７:３０～初心者クラス、１８:３０～上級者クラス
場所：青少年センター２階　研修室
対象：中学生以上

【問合せ・申込】
社会教育グループ　☎２７－２４９５

厚真町スケート記録会

「第４２回厚真町スケート記録会」を下記日程のとおり開催します。ホッケーやフィギュアスケートが有利となる種目が増えましたので詳しくは、各学校から配布されるチラシをご覧ください。

また、幼児の方も参加できる種目も用意しておりますので、詳しくは町ホームページや公共施設に掲示のあるポスターをご覧ください。皆さんのご参加をお待ちしております。

◆とき　令和５年２月４日（土）
開会式：　午前９時００分から
競技開始：　午前９時３０分から
（開会式終了後に競技開始）

◆ところ　町民スケートリンク（新町）

◆その他　中止の場合は２月５日（日）に延期となります。

◆問合せ　教育委員会社会教育グループ
☎２７―２４９５

ご家庭で不用になった スケート靴はありませんか？

フィギュア、ホッケー、スピードスケートなど、スケート靴の種類、サイズは問いません。ご家庭で不用となったスケート靴がありましたら、ご提供をお願いいたします。

なお、提供していただいた靴については、町民スケートリンクでの貸出用としての活用を予定しています。スケート靴が集まり次第、貸出を実施しますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

【連絡先】
・教育委員会社会教育グループ
☎２７－２４９５
・厚真町スポーツセンター
☎２７－３７７５

11月定例教育委員会

１１月２５日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項
１１月の校長会議、教頭会議／令和４年度厚真町小中一貫教育研究大会／軽舞遺跡調査整理事務所特別公開／就学児健康診断時「家庭教育セミナー」／厚真町文化祭の開催／図書フェスティバルの開催／日高幌内沢見学会／ペタンク体験会／幌内神楽保存会　北海道文化財保護功労者表彰受賞式について

◆議案
文化財の指定について

◆協議
令和４年度全国学力学習状況調査結果の町民公表について／令和４年度いじめの問題に関わる対応の状況について／令和５年度当初予算の概要について

◆その他
「１００年先の厚真を創る１００の学び場プロジェクト」の開催について／「二十歳のつどい」の開催について／（その他３件）

★問合せ
教育委員会学校教育グループ
☎２７-２４９４

「町民スケートリンク」の 利用について

今年の町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。皆さんのご利用をお待ちしています。

◆利用期間
令和４年１２月下旬から
令和５年　２月２０日（月）を予定しています
※決まり次第、防災無線及び町ホームページにてお知らせします。

◆利用時間
平日・土曜：午前９時～午後８時
祝日・日曜：午前９時～午後５時
〇年末年始の利用時間について

１２月３１日（土）	午前９時～正午まで
１月　１日（日）	休みとなります
１月　２日（月） ３日（火）	午後１時～４時まで

※天候や気温等により利用期間が変更となる場合もあります。

◆問合せ
厚真町スポーツセンター　☎２７―３７７５
町民スケートリンク管理棟 ☎２７―５５５５

図書室だより

令和４年１２月２１日発行

青少年センター図書室
TEL２７－２４９５（平日）
TEL２７－２３２１（土日）

2022年　厚真町で一番借りられた本は？

≪一般書≫部門
1位　もう別れてもいいですか　垣谷美雨/著
　　母の待つ里　浅田次郎/著
2位　その日まで　瀬戸内寂聴/著
　　ないものねだるな　阿川佐和子/著
3位　折れない言葉　五木寛之/著

≪児童書・絵本≫部門
1位　仮面ライダー大図鑑DX
2位　パンどろぼうVSにせパンどろぼう　柴田ケイコ/作
3位　ぎょうれつのできるパンやさん　ふくざわゆみこ/作
4位　こんがらがっち　あっちこっちすすめの本
5位　たべてあげる　ふくべあきひろ/作

一般書部門は、人気がある作家の作品が多く借りられる中、垣谷美雨（かきや　みう）さんの著書が一番多く借りられました。目を引くタイトルが、人気の秘密かもしれません。児童書・絵本部門の「パンどろぼうシリーズ」は、「〇〇なしろくま」でおなじみの柴田ケイコさんの作品で、シリーズは4冊出版されており、いつも貸出中で大人気です。夏には「パンどろぼうのパンを作ることができるレシピ集」も出版されました。皆さんが借りた本は、順位に入っていましたか？

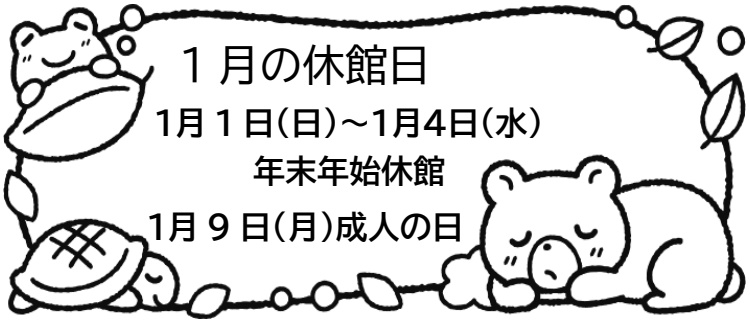
文庫用回転書架とブックトラックを導入しました

文庫本の所蔵冊数が増え、配架場所が点在していましたが、12月に青少年センター図書室に導入された文庫専用の回転式書架に、人気のシリーズや比較的新しい文庫本を配架し、図書室の入口付近に配置することで、今までよりも文庫本が探しやすくなりました。

また、同時にブックトラックを導入しました。主に本の運搬に使われ、色々な用途で、使うことができますが、その日の返却本を並べる展示台として利用しています。図書室にお越しの際は、青くてかわいいブックトラックを探してみてください。

回転式書架とブックトラックは、盛興建設株式会社様からご寄贈いただきました。

お部屋のお掃除等で、本の裏に「あつま」「北海道立図書館」のシールが貼ってある本が出てきましたら、廃棄せずに図書室までご返却ください



■青少年センター図書室開館時間
午前９時から午後５時（月・水・金・土・日）
午前９時から午後７時（火・木）
■厚南会館図書室
午前９時から午後５時（月～日）
※毎月５日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

１月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
26日(木)午前10時から10時30分まで
場所：子育て支援センター（こども園つみき隣）です。

☆放課後子ども教室活動報告☆

外に出ると冬の匂いがし、まちにはクリスマスやお正月の商材が並んで、年の瀬であることを実感します。この冬、空からの贈り物は、昨シーズンのようにまとめてドーンとよりも、小分けに少しずつお願いしたいと祈りつつ、今年はどれほど雪が降って、子どもたちとどんな遊びができるか、ワクワクしながら想像をふくらませる今日このころです。

クリスマスシーズンに合わせて、子ども教室のプログラムでは、松ぼっくりをツリーに見立てた工作を行いました。ものづくりは、子どもたちに人気のプログラムで、毎回、個性豊かな作品がたくさんできあがります。最初の印象で、５分もかからず仕上げてしまう子。試行錯誤(さくご)を繰り返し、時間いっぱいまで理想を追い求める子。子どもたちの新たな一面や、感性が垣間(かいま)見えるプログラムでもあり、スタッフにとっても楽しみな活動のひとつです。今回もリボンのかけ方や、ビーズの配置へのこだわり、手芸用の綿を使った雪の表現など、ひとつひとつ、その世界観を楽しませてもらいました。

２学期の後半から３学期にかけて、集団としてのまとまりも感じられるようになるころ、仲間と協力したり、切磋琢磨(せっさたくま)したりするスポーツも面白さを増していきます。野球のルールにのっとった、ティーボールやキックベースという球技から、定番のバスケットボール、バドミントン、バレーボール、オニゴッコやリレーなどを行いました。ときに、その熱量がヒートアップし、ケンカになることもありますが、そこには「真剣にやりたい！」という思いの強さがあるように感じています。高学年の活動日では、やりたい遊び・スポーツを子どもたちに提案してもらい、みんなでルールを決めて実際にやってみる、というチャレンジをこの時期に取り入れています。チームを分けるとき、学年や体格によって力の差が出過ぎると、試合自体がつまらなくなってしまう可能性が出てきます。でも、仲の良い友だち同士で組みたい気持ちもある。ちょうど良いバランスを保つには、どうすれば良いのか、子どもたちも知恵を絞って考えます。例えば、試合数を複数回にして、一方は力の差を均等に、もう一方は力の差が出る分、人数で調整をしたり工夫する様子が見られました。それぞれの思いを伝え、アイディアを出し合い、その場の状況に合わせて調整できる力が育ってきているように感じます。必要に応じてスタッフも話し合いに参加する場面はありますが、子どもたちと同じ目線に立って、一緒に問題を解決するよう心がけています。子どもたちが意欲を持って人と関わる場を築いていけるよう、これからも機会をつくっていきたいです。